



中友会副会長 岩井 昭

今、あなたのいる今

十二月 今年も残り僅かになりました。そして何となく今年を思い返しております。この、押し詰まる感覚と共に、今、東京を彩る紅葉は今年最後の自然の素晴らしさを見せてくれます。動ける体を維持するための散歩を、心のゆとりにより紅葉探勝することが、高齢者の生活を充実させる一助と、思います。

さて、この一年間を省みると、「大変なこと」が数多くあり、驚いてしまいました。東日本大震災の復興事業の遅いことと不正が伴う事実、天災といわれる気象災害の状況などは、方丈記の表現した状況に類似すると考えてしまいました。天変地異の続いた有様は、「温暖化」だけで結論づけしていいのだろうか、懸念してまいります。広島土流災害、北海道など各地の集中豪雨、ゲリラ豪雨、突風旋風など風害、そして、御嶽山噴火、大洪水、浸水、崖崩れなど生活環境破壊に関心を持たざるを得ません。そして、PM2.5の大気汚染などの不安は、光化学スモッグの比ではないとも思います。熱中症などかつて考えられなかった病気でした。



[発行所]
中友会
 港区西新橋1-22-13
 全日本中学校長会館202号室
 東京都中学校長会事務局内
 TEL 03-3504-8705
 FAX 03-3504-8706



<http://chuyu-kai.org/>

安心安全な日本社会と気を許してしまうと、とんでもないことになってしまうと、気付かされました。災害の内容を理解し、自分の身の安全を他人まかせにするのではなく、自衛することに高齢者も取り組まなければならぬ時代と思えました。

現役の頃の間人間関係の煩わしさから解放された筈ですが、日中韓北朝鮮と言う東アジアの国際関係や民族感情の絡み合いや領土問題や歴史認識と言うグローバルなことから、孤老死、いじめ、虐待、ストーカー問題など個人に関わる問題の多発には、好奇心を持ち考えますが、対処が困難と思わされてしまいました。グローバルなことも身近な生活のことも生きている現実の人間のことで、から、高齢者は考えるだけで十分と思えました。ウクライナ紛争、イスラム国のことなど、民族・宗教・資源に係わる紛争、エボラ出血熱から Dengue 熱など保健衛生等の問題、食品に係わることでして人種差別や人権など、この世には多くの問題があります。高齢者の体力精神力は個人差が大きく、すべて同等とすることは不可能ですが、生き続けている高齢者として、興味・関心・好奇心を今は持続することです。

今年の高齢者の状況は、65歳以上が総人口の25・9%、75歳以上が12・5%と推計されました。この事実から、世の中からの引退者として生活す

る訳にはいかないと、考える人も多いと思えます。

先日、コンビニを出てレシートを見ながら歩き始めたたら、突然、自転車を止めた老人が「危いぞ前見て歩け」と言いました。互いによつからず老人は行き、私はバスに乗りました。道路交通法上から言えば逆です。歩行者のための歩道で、自転車通行者が権利を主張する意識は、高齢者の特徴をよく物語っている訳です。高齢者は、自己主張者頑固者威張屋ケチな人自虐弱者情に弱い人そして体力なく精神的弱者と悪口雑言され、世の中から毛嫌いされる存在と見られてしまいます。むしろ、そうでない人が多いことは当然です。高齢者は、社会的弱者で保護や保全を受ける身です。年金の受領がその証拠です。

最近、病身、孤老、貧困、生き甲斐なく生活している高齢者が話題になります。人は誰も皆迎える死を自覚しつつ、今を生きています。生きる限り、自分を意識して努力している人を多く見ます。その反対の状況を示す人も居り、また不運にも病気になる人も居ります。すべて個人差であり、他人が係われないことがあると思えます。

私は会員動向の一端を担う紙面に、役割として関わっています。逝去の知らせを受け、統計的に数の処理では終わりません。「天寿を全うする」ことの意義深さを考えさせられます。「今」の積み重ねは時間ですが、「あなたがいる今」は、個人の時と場所です。その今を、興味・関心・好奇心を持ち、動ける体の維持に努め、健全なる気分で寛如を施す「今」でありたいと思います。